

2018年度事業報告書

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構

I 事業期間

2018年4月1日～2019年3月31日

II 事業の成果と課題

(1)

7月31日、公共事業において現場入場の際の社会保険加入チェックにおける日雇労働者への不利益問題の是正について、厚生労働省に勉強会を開いていただきました。

勉強会に向けて、署名活動他、ほぼ1年に亘り、国に対して働きかけを行った結果、厚生労働省の通知・説明レベルでは、日雇労働者の社会保険の取り扱いについて整理がなされました。一つの成果です。実際の検証が必要です。

(2)

旧あいりん総合センター閉鎖に向けて、大阪市福祉局・西成区・巡回相談（自彊館）と相談支援事業部が、旧センター周辺の野宿生活者・日中を2階で過ごす者を対象とした集中相談を実施しました。

閉鎖・仮施設開所に伴う労働者と野宿生活者の仕事へ向かうための待機場所及び居場所の縮小の問題に関し、国、大阪府、大阪市と交渉を重ねました。

交渉の結果、あいりんシェルターの運用に関し、朝5時閉所であった開所時間を8時半まで延長することになりました。昼の居場所棟（通称：禁酒の館）について、公式に日祝も開所となりました。また、あいりん労働公共職業安定所待合室の朝5時からの開所、大阪府の「あいりん地域不安定労働者就労支援事業」を活用しつ土日祝の開所を実現できました。

(3)

旧センター閉鎖に伴い、センター・ガードマン及びセンター清掃が再編成されることになりました。再編成に向けて、寄り場と就労現場の実情に応じた業務内容となるよう大阪府と交渉を重ね、実施に至ることができました。

(4) 大阪府・大阪市に対する働きかけ

反失業連絡会の一員として、要望書を提出、交渉を行いました。働きかけにもかかわらず、2019年4月、府の特掃が1日あたり5人の削減となりました。

登録者の漸減に伴い、一人あたりの就労回数が減少するというものではないものの、野宿やシェルター利用からの脱出を強固に支援する仕組みとしては不十分な段階に留まっています。このことをどのように発信し、論議するかが問われています。

Ⅲ事業の実施状況

1. 就労機会提供事業

① 高齢日雇労働者就労自立支援事業

大阪府からは「高齢日雇労働者就労自立支援事業」を受託しました。

そのうち「あいりん地域外清掃業務」では、のべ17,286人を雇用して、府立施設・府立高校・道路・河川等で、除草・清掃・剪定等の作業を行いました。

「あいりん労働福祉センター就労斡旋機能向上業務」では、のべ7,473人を雇用して、あいりん労働福祉センターに出入りする求人車両の誘導ならびに清掃作業を実施しました。

(事業費総額236,211,000円。うち人件費186,204,862円、物件費32,509,027円、消費税17,497,111円)

② あいりん日雇労働者等自立支援事業高齢日雇労働者社会的就労支援

大阪市からは「あいりん日雇労働者等自立支援事業」内「高齢日雇労働者社会的就労支援」を受託しました。

そのうち、「あいりん地域内の環境美化に関する作業」においては、のべ18,159人を雇用してあいりん地域内の道路清掃、側溝清掃、除草作業を実施しました。

「あいりん地域外の環境美化に関する作業」においては、のべ15,205人を雇用して、市有地・道路・公園等での除草・剪定および清掃等、市立保育所でのペンキ塗り・剪定・修繕等の作業を実施しました。

(事業費総額331,891,708円、うち人件費290,330,432円、物件費16,976,703円、消費税24,584,571円)

※上記雇用人数につきましては、特掃登録者の数で指導員等は含まれていません。

③ メーデー会場清掃業務

連合大阪の協力のもと、委託を受け、5月1日連合大阪主催大阪メーデー会場の清掃を、80名雇用して実施しました。

④ その他請負業務

民間企業等から幅広く除草・塗装・剪定等の作業を請負い、作業を実施し、釜ヶ崎の日雇労働者やホームレス生活者の就業機会の確保に努めました。

2. 居場所提供事業

① あいりん日雇労働者等自立支援事業居場所支援

夜間シェルターの運営

大阪市から委託を受けて、あいりんシェルター管理運営業務を実施しました。開所日数は359日。のべ利用人数（21時閉門時）92,936人。

夜間シェルターの開所時間を3月から延長するにあたり、三交代制を導入しました。

昼の居場所棟の運営

大阪市から委託を受けて、あいりんシェルター内昼の居場所棟（禁酒の館）にて、居場所・洗濯機・シャワー等の提供を行いました。

2018年度は、のべ利用者数101,348人となりました。また、週1回を基本として無料散髪を提供し、のべ205人が利用しました。夜間シェルターと昼の居場所棟とあわせて、46,303人がシャワーを利用しました。

（事業費総額94,770,476円。うち人件費80,021,481円、物件費7,728,960円、消費税7,020,035円）

② あいりん日雇労働者等自立支援事業越年時支援

2018年12月29日から翌1月4日早朝まで、あいりん地域に居住する単身日雇労働者であって、年末年始に仕事を得られないため、自ら食及び住を求めがたい者264人に対し、あいりんシェルターにて宿泊場所を提供するとともに食品・日用品等を支給しました。

また、地域の日雇労働者、生活困窮者からスタッフを採用し、就労機会を作りました。

（事業費総額16,010,438円、うち人件費6,776,108円、その他経費9,234,330円）

3. 相談・サポート事業

① 就業支援事業

大阪ホームレス就業支援センター運営協議会から委託を受けて、就労自立を目指す人への就職相談・就職支援事業を実施し、求人情報の提供・求人企業への紹介、面接の受け方および履歴書作成の指導をしました。履歴書用の写真撮影・提供、携帯電話・自転車・スーツ等の貸し出しを行いました。また、南事務所に、パソコンを設置して、ハローワークインターネットサービスの求人検索用に提供しました。2018年度新規登録人数は151人、相談実人数は330人、相談件数は999件、常用就職実績46人、臨時就職延人数は、2,080人となりました。

また、就業支援員10人を大阪府・大阪市が実施する特別清掃における現場監督・指導を行うために配置し、作業指導とともに、日常の相談を実施し、就職相談・訓練事業等への中継を行いました。

（事業費総額57,629,314円、うち人件費50,635,476円、その他経費2,725,000円、消費税4,268,838円。）

② 就業開拓推進事業

大阪ホームレス就業支援センター運営協議会から委託を受けて、支援対象者に応じた個別の求人開拓、地域への貢献活動となる仕事の開拓、地域におけるチラシ配布等の広報宣伝活動を行いました。

また、昼の居場所棟に、求人する企業に来所いただき、直接地域の日雇労働者・ホームレス生活者・生活困窮者が、説明を受けて社風を知り、面接に至ることができる「袖振り合うも多生の縁 お仕事マッチ」を開催しました。接触した企業数のべ98社、企業との接触回数414回、お仕事マッチ開催5回。

(事業費総額3,448,528円、うち人件費2,988,082円、その他経費205,000円、消費税255,446円。)

③ あいりん地域不安定労働者就労支援事業

大阪ホームレス就業支援センター運営協議会から委託を受けて、民間企業への就職に伴って、4ヶ月間の助成金が企業に支払われる仕組みの活用に向けて、自立支援センター入所者やあいりん地域の高齢日雇労働者等を対象に相談・就業支援を実施しました。

協力事業所登録状況9社、支援実施状況7名

(事業費総額5,037,532円、うち人件費4,143,382円、その他経費521,000円、消費税373,150円。)

④ あいりん日雇労働者等自立支援事業相談支援

大阪市から「あいりん日雇労働者等自立支援事業」内「相談支援」を受託、実施しました。あいりん地域の日雇労働者等に対し、特別清掃やあいりんシェルターと連携しつつ、健康相談、生活相談等を行い、就労自立、野宿からの脱出を助ける支援を行いました。特別清掃の面着時に輪番労働者に声かけを行い、就業支援員等から現場作業のようすを報告してもらいながら、体調が思わしくない／高齢などの方を相談し、寄り添い型の支援を行いました。

シェルター利用者を対象とした夜間相談会や特掃登録者を主に対象とした特掃詰所での歯科相談会・健康相談会を医師・看護師・保健師との協働で開催しました。歯科相談利用者は169人、健康相談利用者は314人でした。

歯科衛生士による歯みがき講座を1回、西成区結核対策特別顧問の下内昭先生による呼吸器健康セミナーを1回開催しました。

実人数1,578人、のべ11,070人の相談を行いました。相談のべ人数の内訳は、就労相談342人、生活保護相談1,474人、健康・保健支援1,929人、その他相談・各種支援7,325人、歯科相談会169人、健康・生活相談会314人。

(事業費総額27,938,753円。うち人件費24,177,816円、その他経費1,691,400円、消費税2,069,537円)

③ 西成区と協働した結核検診

8月27日～30日、特掃登録者を対象に結核検診を実施しました。432人が受診しました。うち、要医療者は2人でした。要医療者のうち結核として発病、排菌している方はいませんで

した。

④ 大阪府済生会と協働した健康診断

9月11～14日の内3日間で、大阪府済生会の協力のもと、輪番労働者593人に対して、健康診断を実施しました。10月以後健康診断の結果をもとに、相談支援を行い、受診勧奨・同行、治療継続の支援を行いました。

4. 社会的雇用創出事業

① 自転車リサイクルシステム構築事業

阿倍野区文の里商店街にあるチャリティ自転車ポタリンと菘之茶屋3丁目のリサイクル・センターとを運営しました。事業としては赤字であり、赤字の解消に向けた活動が急ぎの課題です。

② 公園管理就労体験事業

住之江公園においては大代興業株式会社と、住吉公園においては株式会社美交工業と、都市公園管理共同体を構成し、指定管理者として運営の一端を担いました。当機構から両公園で58人に対して、1248人日の職場体験講習を活用した就労体験の機会を提供することができた。

③ 公園管理経験者訓練事業

住之江公園において灌水、除草、樹木剪定、植栽などの作業に、園芸講習の経験者及び地域密着型就労自立支援修了者8人が参加、のべ545人日従事した。

④ 内職作業提供事業

民間企業からの受注により、就労の前段階に生活リズムを整えるなど準備期間が必要な方、疾病や障がい等のために、すぐには就労に結びつきにくい方に対して、内職作業を提供しました。就労意欲の助長と収入の増進のために、特掃登録者に作業を提供しました。

⑤ 住之江公園野球場売店プレイヤーズの運営

住之江公園JVの一員として、公園活性化の一環として、7月～8月売店プレイヤーズを運営しました。釜ヶ崎の不安定就労者に就労機会を提供しました。

6. 地域活性化事業

西成区単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業

大阪市西成区より受託し、単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくりと地域貢献による西成区のイメージアップに取り組みました。また、金銭の預かりや服薬の見守りが必要な方にサービスを提供した。また職業体験を実施しました。2018年度は、登録者ひとりひとりがプレイヤーとなれるよう話し合いの機会を設け、自主決定できる機会を増やし、活性化を図りました。
(事業費総額12,760,848円、消費税945,248円)

※以上事業費は当初見込みで記入しています。

7. その他の事業

① 「ビッグイシュー」販売支援事業

ビッグイシュー本社より遠い大阪南部での販売者の利便をはかるため、仕入れ中継点としての役割を果たすとともに、さまざまな相談に応じました。販売希望者を受け付け、ビッグイシューへの橋渡しを行いました。また越年時にビッグイシュー基金によるギャンブル依存症調査に協力しました。

② NHK 歳末助け合い

2018年～19年の越冬の取り組みに、特別配布を受け、非常食、下着等を購入し、三角公園や医療センター前布団敷きでの配布を行いました。生活保護申請時の緊急支援にも活用しました。

③ ネットワーク推進

高校・大学等の学校関係者・学生、人権団体、法律家団体、労働団体、府内・他府県の地域団体等幅広い層から釜ヶ崎地域視察を受け入れた。特別清掃での労働体験を受け入れました。

西成区関連では「区政会議」「環境福祉・専門部会」「あいりん地域のまちづくり検討会議」「地域福祉アクションプラン策定・推進委員会」「包括支援センター運営協議会」に委員として参加した。あいりん地域モデルケース検討会議に参加しました。

大阪市社会福祉協議会に評議員として参加しました。

西成区社会福祉協議会、今宮社会福祉協議会、NPO法人まちづくり今宮に理事として参加しました。

「ホームレス支援全国ネットワーク」に副理事長として参加しました。

「日本ソーシャルインクルージョン推進会議」「共生型経済推進フォーラム」「NPOまちづくり今宮」に参加。「環境福祉学会」「ソーシャルファームジャパン」「大阪環境ネットワーク」に法人として参加しました。「ソーシャルファームジャパンサミット in 大阪」に発表者として参加しました。

ワーカーズコープとの提携関係を深め、月1回の定期協議を行い、情報の共有を進めました。

9月15日『永戸×山田のGet Wild』という討論会を開催しました。

④ 炊き出しによる食事の支援

釜ヶ崎就労・生活保障制度実現をめざす連絡会（反失業連絡会）と協働し、炊き出しによる食事支援を行いました。

⑤ 越冬闘争に向けた学習会等の開催

12月15日、寿支援者交流会事務局長高沢幸男さんを迎えて「東西えっとう往来2」と題した講演会を開催しました。

⑥釜ヶ崎講座とタイアップして仕事づくり集中講座を3回開催しました。第1回6月2日『NO排除 NO支援 NO援助の仕事づくりから学ぶ』ワーカーズコープ連合会センター事業団理事長田中洋子さん、ワーカーズコープ連合会センター事業団地域福祉事業所 Worker' s Net Rings 所長木下史郎さん、第2回9月29日『企業組合あうんから学ぶ』企業組合あうん代表理事荒川茂子さん、第3回12月1日『フリーヘルプから学ぶ』NPO法人フリーヘルプ理事長西本清五さん。

7. 社員総会の開催状況

第19回社員総会

日時 2018年6月16日 午後6時～8時 場所 釜ヶ崎支援機構南分室2階
正会員27名中20名(内委任状8名)が参加して、第19回社員総会を開催しました。
事業報告・会計報告・事業計画・予算等を審議し、採択しました。

8. 理事会の開催状況

理事会は1回開かれ、当法人の活動の大方針について論議し決定しました。

第32回理事会議事 日時 2018年6月16日 午後5時～5時45分 釜ヶ崎支援機構南分室2階